

第2学年国語科学習指導案

令和4年5月23日（月）5校時

世田谷区立松沢小学校

第2学年1組

1 単元名 じゅんじょに気をつけて読もう。

教材名 「たんぽぽの ちえ／じゅんじょ」（光村図書 2年）

2 単元目標

時間的な順序や理由を表す言葉に着目して、たんぽぽの様子とその理由を考えながらたんぽぽのちえを読み取ることができる。

3 単元評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 順序など情報と情報との関係について理解している。	・ 「読むこと」において、時間を表す言葉やたんぽぽの様子・理由を関係付けながら内容の大体を捉えている。 ・ 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	・ 植物の様子やその様子になるわけに着目しながら植物について書かれた本を読み、植物のすごいと思うところを自分の考えを書いて表現しようとしている。

4 単元について

（1）これまでの学習経験

1年生では、「くちばし」「うみのかくれんぼ」「じどう車くらべ」の教材を通して、説明文には「問い」「答え」があることを学んだ。それぞれの教材の答えを読み取るために、説明されている観点について文末表現に着目し、サイドラインを引きながら読み取ったものをワークシートにまとめていく学習をした。「じどう車くらべ」では、自動車の仕事と作りの因果関係を捉え、挿絵と本文を一致させながらワークシートに個人の読み取りをまとめさせた。「どうぶつの赤ちゃん」では、成長過程が分かる時間を表す言葉に触れながら、説明されている観点を読み取り、動物ごとに比較して分かったことや自分の考えを表にまとめる学習をした。

全ての教材において文末表現に着目することで、読み取りやすくなることを学んできている。

（2）本教材

本教材は、児童にとって身近な植物であるたんぽぽを題材にした説明文である。

本教材は、1年生で学習してきた4つの説明文と違い冒頭に「問い」がない。話題提示から始まり、たんぽぽの成長過程について、時間の経過とともに4つの知恵について「たんぽぽの様子」「その様子になる理由」が順序よく書かれている。児童にとっては、初めての種類の説明文である。

「時間を表す言葉」「たんぽぽの様子（＝知恵）」「その様子になる理由（＝知恵を働かせるわけ）」の3つを読み取らせる。最後に、たんぽぽのちえを「すごいぞ！たんぽぽ」で振り返ることで、学習内容の定着を図り、自分の考えを表現する力を身に付けさせたい。また、「様子とは何か」「知恵とは何か」を言語化させ、様子を読み取るための手がかりとしたり、知恵はたんぽぽの様子であることを捉えたりできるようにさせたい。

1年生で学習してきたこと（①説明文には「問い」「答え」があること。②文末表現に着目すること。③書かれていることの因果関係の把握④挿絵と本文を一致させて読むこと。⑤順序を表す言葉⑥比較して分かったことや自分の考えを表現すること。）を活用しながら、新しい「読みの手がかり」をもとに本教材を読ませたい。そして、身に付けた力を活用しながら、他の植物の育ち方などについて説明された本を読み、植物の様子やそのわけに着目しながら植物のすごい所（知恵など）を見付けて「すごいぞ！〇〇カード」に表現させたい。

5 児童の実態

学習の進め方が少しずつ定着し「じっくりタイム」「わいわいタイム」「なるほどタイム」「つけたしタイム」とスムーズに学習をすすめることができるようになってきた。

学習課題に対して、文末表現を読みの手がかりとしながら読み取りを進める力も身に付いてきている。一方で、文章の中の重要な語や文を考えて必要な部分だけを選び出し、短い言葉でまとめる力は不十分である。

読み取ったことを挿絵と一致させながら自由にまとめるという「じどう車くらべ」での学習活動に意欲的に取り組んでいたため、本単元も同様のワークシートで主体的な読みを期待したい。

交流活動では、自分のまとめたものをもとに、自分の言葉で表現しながら説明できる児童も増えてきた。また、ロイロノート・スクールを短時間で活用できるようになった。一方で、読み取ったものに対して自分の考えをもつこと（書く・話す）への抵抗が見られる。本教材では、読み取ったことをもとに、今日の「すごいぞ！たんぽぽ」を決め、自分の考えを書いたり話したりする活動を取り入れる。さらに、言語活動の「すごいぞ！〇〇カード」をまとめることを通して、自分の考えをしっかりと表現できるようにしたい。

6 小学校学習指導要

- 「読むこと」の指導事項 内容の（１）は、学習過程に沿って、次のように構成している。
- 構造と内容の把握 叙述を基に、文章の構成や展開を捉えたり、内容を理解したりすること。
 - 精査・解釈 文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて必要な情報を見付けることや、書かれていること、あるいは書かれていないことについて、具体的に想像することなど。
 - 考えの形成 文章の構造と内容を捉え、精査・解釈することを通して理解したことに基づいて、自分の既有の知識や様々な体験と結び付けて感想をもったり考えをまとめたりしていくこと。
 - 共有 文章を読んで形成してきた自分の考えを表現し、互いの考えを認め合ったり、比較して違いに気付いたりすることを通して、自分の考えを広げていくこと。

「C読むこと（説明的な文章）」領域の構成 （１）指導事項

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
内容の構造と把握	ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	ア 相互段落の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	ア 事実と意見、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
精査・解釈	ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

考えの形成	オ 文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
共有	カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	カ 文章を読んで理解したことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

■構造と系統 [読むこと—説明的な文章] 光村図書 小学校国語 学習指導書

説明する文章を読む 【たんぽぽのちえ】	○説明する文章を読むときは、順序やわけに気をつける。
読んで、考えをもつ 【どうぶつ園のじゅうい】	○誰が何をしたかや、何があったかを、順序に気をつけて読む。 ○読んで分かったことと、自分の知っていることを比べる。
説明のしかたに気をつけて読む 【馬のおもちやの作り方】	○文章のとまりに気をつける ○「まず」「つぎに」などの言葉を見つけて、順序を捉える。 ○絵や写真が、文章のどこを説明しているかを確認する。
大事な言葉や文を見つける 【おにごっこ】	○次のことを確かめて、大事な言葉や文を見つける。 ・何について書かれた文章か。 ・自分の知りたいことは何か。

7 研究主題に迫るための手立て(ユニバーサルデザインを意識した指導の工夫)

(1)授業の流れを示す掲示物とヒントカード(視覚化) ※全学年共通「学習の進め方」「学習活動のネーミング化」

(秘伝書④)

主体的な学びから自力解決できるよう「じっくりタイム」の「学習の進め方」をより詳細に掲示する。

「じっくりタイム」

- ・たんぽぽの様子を読み取る。(サイドライン)
- ・挿絵と一致させながらたんぽぽの様子をワークシートにまとめる。(矢印、囲み線)
- ・(知恵を働かせるための) わけを読み取る。(サイドライン+文末表現に囲み線)
- ・わけをワークシートにまとめる。

これらの学習の進め方に対応した読みの手がかりとなるヒントカードを準備することで、自力解決できるようにする。

(2)言語活動(焦点化)

本単元では、学習のまとめとして「すごいぞ! ○○カード」に、たんぽぽについて書かれた科学的な読み物から新たに発見したたんぽぽのすごいところやたんぽぽ以外の植物のちえなどをまとめるという言語活動を設定した。4つのたんぽぽのちえを読み取るために身に付けてきた力を活用し、自分の選んだ植物の様子やその様子になる理由、時間を表す言葉に着目しながら植物のすごいところをカードにまとめていく。

これまでに見たり触ったりしたことのある植物と比べたり、文章を読んで初めて知ったりしたことなどについて自分の考えを入れながら、一人一人の言葉でまとめさせたい。

(3)枠にとらわれないワークシートへのステップアップ…学び方の活用(焦点化、個別的な配慮)

「じどう車くらべ」で使用した同様のワークシート形式を用いることで、1年生で学んだ「学び方の活用」ができ、何をどのようにまとめればよいのかの定着が早期に図れると考えた。さらに、学習を重ねるたびにワークシートの矢印や囲み線、罫線を少なくしていく。ワークシートの難易度を少しずつ変化させることで、文字数やまとめ方に縛られることなく、個人の読みを挿絵と一致させながらまとめる力を身に付けられるようにさせたい。

(4) 読みの手がかりとなる掲示物

① 前時までのワークシート

児童と同じ形式の大型ワークシート掲示物を準備する。授業で価値付けしたことが分かるように表記し、ワークシートのまとめ方の手がかりとさせる。

② ヒントとなる文末表現と言葉の言語化

	文末表現	言語化
たんぽぽの 様子		・たんぽぽが<u>していること</u>、<u>やっていること</u> ・（自分が）見て分かること。
たんぽぽの様子になる わけ	～のです。～からです。	理由、どうして～するのか、～したのかの説明
たんぽぽの ちえ		・～するために<u>すること</u>。 ・～するために<u>していること</u>。 ・～するために<u>やっていること</u>。 ⇒すごいこと、賢いこと、能力

③ うさ松秘伝書の活用

「たんぽぽのちえ」を読むために必要な学び方を2年生の実態にあわせて作り替えたものを掲示した。説明的な文章に活用できる読み方を意識しながら文章を読み取らせることに有効だと考えた。

・ NO. 28 「順序を表す言葉」 ・ NO. 44 「文章の書き直し方・加筆修正」

④ たんぽぽの写真

教科書の挿絵だけではなく、第1時の導入で使ったたんぽぽの実物写真を掲示し、叙述に書かれているたんぽぽの様子と実物写真のたんぽぽの様子を一致させながら授業を進めていきたい。授業で学んでいることが、身近なたんぽぽであることを常に意識し、他の生き物や植物ではどうなのだろうという、児童の思考力や興味関心を高め、深い読みの手がかりにさせたい。

(5) 効果的な交流の仕方(共有化)

わいわいタイム (ペア交流)

ロイロノート・スクールでの交流ではなく、言語を用いた交流を取り入れる。ペア交流を3～4セット行うことを通して、自分のまとめたものを確実に友達に伝え、相手のまとめたものをきちんと聞いて自分の考えを見直し、加筆修正させたい。その際に、どのように読み取ったのかを文末表現や大事な言葉に気を付けながら、自分の考えを表現できることを期待する。

なるほどタイム (全体交流)

学習のねらいに沿った読み方ができている児童のワークシートを、ロイロノート・スクールの画面共有機能

を活用して、価値付けを行う。つけたしタイムでは、画面共有で取り上げられた児童のワークシートを参考にしながら加筆修正できるようにする。

8 学び方 *「うさ松の秘伝書」のページ

言語形式 様々な説明的な文章に活用できる読み方	言語内容 該当教材における特有の読み方
①題名やリード文について考える。	①題「たんぽぽの <u>ちえ</u> 」やリード文「たんぽぽのちえとは、どんなもので <u>しょうか</u> 。」から学習の見通しをもつ。
②形式段落に分ける。(No. 16)	②本教材：形式段落は①～⑩に分かれる。
③説明文の構成を理解する。(No. 14) 意味段落に分ける。(No. 17)	③初め 意味段落一 (①) …前書き・話題提示 中 意味段落二 (②③) …たんぽぽの知恵① 意味段落三 (④⑤) …たんぽぽの知恵② 意味段落四 (⑥⑦) …たんぽぽの知恵③ 意味段落五 (⑧⑨) …たんぽぽの知恵④ 終わり 意味段落六 (⑩) …まとめ
④順序を表す言葉に着目する。(No. 28)	④「時間を表す言葉」と挿絵を手がかりに文章を並び替える。 春になると⇒(花がさいて) 二、三日たつと ⇒やがて(花がすっかりかれたころ) ⇒この(わた毛ができる) ころになると ⇒よく晴れて風が当たる日 ⇒しめり気の多い日や雨ふりの日
⑤文末表現に着目して読み取る。(No. 33)	⑤わけ…「～のです。」「～からです。」を探す。
⑥書かれている事柄の順序を読み取る。	⑥「たんぽぽの様子」(たんぽぽのちえ) ⇒「その様子になる理由」(ちえを働かせるわけ) の順序で書かれていることを理解し、様子と理由の因果関係に着目して読み取る。
⑦比喻表現の働き (No. 40)	⑦「らっかさんのように」(直喩)「わた毛のらっかさんは」(隠喩)
⑧「まとめ」を見付ける手がかり (No. 6)	⑧接続語「このように」
⑨交流し、加筆修正する。(No. 44)	⑨ペア交流、ロイロノート・スクールによる交流 加筆修正の記号を使って自分の文章を見直す。
⑩自分の考えを書く。	⑩P 4 9 「思ったことを書くときのことば」 ・はじめて知った。 ・ふしぎだと思った。 ・おもしろいと思った。・もっと知りたくなった。

9 価値付けの工夫

「教師からの評価による価値付け」「児童同士の交流による価値付け」

教師からの評価 による価値付け	机間指導	掲示物(学習の進め方・読みの手がかり)を活用しながら、「①たんぽぽの様子(知恵) ②たんぽぽの様子になる理由」を読み取っている記述を見付け賞賛する。
	全体共有	・挿絵にあるものを表している言葉に気を付けながらたんぽぽの様子を読み取ったり、文末表現(～のです。～からです。)に着目して理由を読み取ったりできている発言や記述を取り上げる。

		・文章の中の重要な語や文を考えて、落とさずに選び出している記述を取り上げる。
	評価	児童のワークシートや発言から、学習のねらいに応じた評価をする。

児童同士の交流による価値付け	記述を見せ合い、考えを伝え合う。	・読みの手がかりを活用して読み取ったり、ワークシートにまとめたりしているかについて相互評価、自己評価をする機会とする。 ・たんぼぼの様子やちえ、そのわけをどのような読み取り方をしたのか根拠を明らかにしながら伝え合う。
----------------	------------------	---

10 学習指導計画(10時間扱い)

次	時	学習活動	○指導内容	支援（◇）と評価（★）
一次 学習の見通しを持つ	1	○たんぼぼについて知っていることを出し合う。 ○ちえについて考える。 ・題名「ちえ」 ・リード文「ちえとは？」 知恵の言語化 ・～するためにすること。 ・～するためにしていること。 ・～するためにやっていること。 ⇒すごいこと、賢いこと、能力 ○学習の見通しをもつ。 ・教材文を音読し、段落分けをする。 ・学習計画を立てる。	○題名とリード文について考えること。 ○知恵を言語化させること。 ○学習の見通しをもたせること。 ○段落に分けること。	◇たんぼぼの様子の変化が分かるたんぼぼの写真を掲示すること。 ◇写真に着目させ、見て分かることを交流させる。 ◇リード文「～でしょうか。」の文末に着目させるようにする。 ◇「たんぼぼのちえ」について読み取る学習であることを確認する。 ◇秘伝書（⑩⑪）を活用し、文章構成を意識できるようにする。 ◇4つの「たんぼぼのちえ」が書かれていることを知らせる。
	2	○本文のカードを並び替える。 時間を表す言葉 ・春になると ・二、三日たつと ・やがて ・このころになると ・よく晴れて風が当たる日 ・しめり気の多い日や 雨ふりの日 ○P5 1「じゅんじょ」について知る。 ・時間の順序 ・仕方の順序	○並び替えの「手がかり」を考えること。 ○「時間を表す言葉」を確認すること。	◇挿絵も並び替えの「手がかり」にできるようにする。 ◇順序に対する課題意識をもたせるようにする。 ◇「時間を表す言葉」や「前後のつながりを表す言葉」に着目していることを価値付けする。 ★順序に気を付けて文章を並び替えようとしている。 ◇秘伝書（⑫）を活用し、「順序を表す言葉」を理解できるようにする。

		・大切さの順序 ○たんぽぽの部位を挿絵と共に確認する。 ○1段落を読み取る。	○たんぽぽの部位を確認すること。 ○たんぽぽの様子を捉えること。	○主語になる「花」「花の軸」「わた毛」「わた毛のらっかさん」「たんぽぽ」を挿絵で確認できるようにする。 ○「様子」とは、たんぽぽが「していること」「見て分かること」と言語化させる。
二次 たんぽぽのちえを読み取る	3 (習得)	○読みの手がかりに気をつけて「たんぽぽのちえ①」を読み取り、ワークシートにまとめる。(②③段落) ・時間を表す言葉を確認する。 ・様子を読み取る。 ・わけを読み取る。 ○「すごいぞ！たんぽぽ」を決めて自分の考えを書く。	○学習の進め方を理解し、めあてを確認すること。 ○時間を表す言葉を捉えること。 ○たんぽぽの様子を読み取ること。 ○短い文や言葉で書くこと。 ○様子は、知恵であること。 ○そのたんぽぽの様子になるわけを読み取ること。 ○文末表現を確認すること。 ○様子⇒わけの順番で説明されていること。 ○交流の視点を確認すること。	◇「二、三日たつと」は、花が咲いて二、三日たったたんぽぽであることを確認できるようにする。 ◇ワークシートの矢印や囲み線と本文を一致させることを押さえる。 ◇第1時を振り返り、「様子」は「たんぽぽのちえ」であることを確認できるようにする。 ◇大事な言葉や文末表現を工夫（敬体文⇒常体文）し、様子やわけをまとめていることを価値付けする。（秘伝書③） ◇読み取った様子から大事な言葉や文を選んで知恵をまとめることを価値付けする。 ○ロイロノート・スクールに提出すること。

4 (習得)	○様子に気を付けて「たんぽぽのちえ②」を読み取り、ワークシートにまとめる。 (④⑤段落) ・時間を表す言葉を確認する。 ・様子を読み取る。 ・わけを読み取る。 ○読み取ったことを交流する。(ペア→全体) ○「すごいぞ！たんぽぽ」を決めて自分の考えを書く。(付箋)	○学習の進め方と読みの手がかりを振り返り、めあてを確認すること。 ○挿絵と一致させてサイドラインを引くこと。 ○花の部位を明確にすること。 ○比喩表現「～ように」(秘伝書④⑩)であること。 ○友だちのワークシートを見て、まとめ方を確認すること。 ○「すごい！」と思ったワークシートの場所に付箋を貼ること。	◇「やがて」は、花がすっかりかれたころのたんぽぽであることを確認できるようにする。 ◇挿絵と様子が一致することを捉えられるようにする。(P4 5L1～L2は、挿絵と一致しないため様子ではない。) ◇挿絵にあるものを表している言葉を選び出せるようにする。 ◇らっかさんの写真や動画を実際に見せ、言葉の理解を図れるようにする。 ★文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。
5 (定着) 本時	○わけに気を付けて「たんぽぽのちえ③」を読み取り、ワークシートにまとめる。 (⑥⑦段落) ・時間を表す言葉を確認する。 ・様子を読み取る。 ・わけを読み取る。 ・問いと答えの関係を読み取る。 ○読み取ったことを交流する。(ペア→全体) ○「すごいぞ！たんぽぽ」を決めて自分の考えを書いて伝える。(付箋)	○学習の進め方と読みの手がかりを振り返り、めあてを確認すること。 ○たんぽぽの部位や様子を表すことばを確認すること。 ○文末表現を確認すること。 ○問いと答えの関係を捉えること。 ○友だちのワークシートを見て、加筆修正すること。 ○「すごい！」と思ったことを友だちに伝えること。	◇「このころ」は、わた毛ができるころであることを確認できるようにする。 ◇写真を提示して、花の軸が伸びた様子を視覚的に捉えさせる。 ◇問いと答えの関係を既習事項から想起させる。 ★様子と理由の因果関係を捉えながら重要な語や文を考えて選び出してまとめている。 ★たんぽぽのすごいと思うところを振り返り、自分の考えを書いて表現しようとしている。

三次 自分の 考えと共	6 (定着)	○2つのたんぽぽの様子を比較しながら「たんぽぽのちえ④」を読み取り、ワークシートにまとめる。 (⑧⑨段落) ・2つの時間を表す言葉を確認する。 ・天気が違うときの様子を読み取る。 ・わけを読み取る。 ・「よく晴れて、風のある日」のわけを考える。 ○読み取ったことを交流する。(全体) ○晴れて風のある日に、たんぽぽがちえを働かせるわけを考える。 ○「すごいぞ！たんぽぽ」を決めて自分の考えを書いて伝える。(付箋)	○学習の進め方と読みの手がかりを振り返り、めあてを確認すること。 ○読みの手がかりとした言葉を確認すること。 ○接続語「でも」「それは」の働きを確認すること。 ○2つの時を表す言葉を比較すること。 ○天気が違うこと。 ○書かれていないわけを考えること。 ○「すごい！」と思ったことを友だちに伝えること。	◇「よく晴れて、風のある日」と「しめり気の多い日や雨ふりの日」は、天気が違うときのたんぽぽであることを確認できるようにする。 ◇挿絵を提示して、天気によって違うわた毛の様子を視覚的に捉えさせる。 ◇天気が悪い時にちえを働かせるわけと比較して考えられるようにする。 ★たんぽぽのちえについて重要な語や文を考えてまとめている。
	7	○10段落のまとめを読み取る。 ○「すごいぞ！○○カード」の見通しをもつ。	○「このように」の働きを捉えること。(秘伝書⑥) ○4つのたんぽぽのちえを確認すること。 ○全ての知恵に共通している知恵を確認すること。 ○植物についての本を紹介すること。 ○カードについて確認すること。	◇掲示物を活用して、4つのたんぽぽのちえについて様子やそのわけを想起させる。
	8・9 (活用)	○「すごいぞ！○○カード」にまとめる。 ・「たんぽぽ」に関する本から読み取った新たな知恵やすごいところ ・自分の選んだ植物の知恵やすごいところ	○カードへのまとめ方を確認すること。 ○P49「思ったことを書くときのことば」を確認すること。	◇これまでの学習を生かして①様子(知恵)②わけ③自分の考えをまとめさせる。 ★重要な語や文を考えて選び出し、すごいと思う知恵について、自分の考えを書いて表現しようとしている。

10	○「すごいぞ！○○カード」を紹介し合う。	○交流の目的を確認すること。 ○友達の良いところを見付け感想を書くこと。	◇「読みの手がかり」など学習したことがまとめられているか読み合う視点を与える。
----	----------------------	---	---

11 本時の指導(5／10時)

(1) 目標 大事な言葉や文末表現に着目して、たんぽぽの様子とその理由を考えながらたんぽぽのちえを読み取ることができる。

(2) 展開

学習活動	○指導内容 ■予想されるつまづき	◇支援（全）…全体（個）…個別 ★評価
1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○学習を振り返り、めあてを確認すること。	◇掲示物（『学習の進め方』『読みの手がかり』）でこれまでの学習を振り返るようにする。（全）
2 時間を表す言葉を確認する。	○時間を表す言葉を確認すること。	◇掲示物（うさ松秘伝書、並び替えたカード）を振り返り時間を表す言葉を押さえる。 ◇「このころ」は、わた毛ができるころであることを確認できるようにする。
わけに気を付けて「すごいぞ！たんぽぽのちえ③」を読み取ろう。		
3 「たんぽぽのちえ③」を読み取り、ワークシートにまとめる。（⑥⑦段落） じっくりタイム <学習の進め方> ・様子を読み取る。（知恵） ・挿絵と一致させながら様子をまとめる。 ・わけを読み取る。 ・わけをまとめる。 ・問いと答えの関係を読み取る。	○様子とその理由を読み取ること。 ■様子を見付けることができない。 ■わけを見付けることができない。	◇掲示物と同じヒントカードを渡し、読みの手がかりを想起させる。（個） ◇たんぽぽの部位や様子を表す言葉に着目させる。（個） ◇たんぽぽがしていることの視点で、挿絵と本文を一致させながら見付けさせる。（個） ◇文末表現（～からです。）に着目させる。（個） ◇まとめ方を確認させる。（個） ・短く書く。 ・文末を変える。（敬体表現） ・挿絵と文を一致させる。
4 グループ交流をする。 わいわいタイム ・ペア交流（3サイクル実施） つけたしタイム ※必要な児童のみ ・加筆修正（青鉛筆）	○自分の考えを交流すること。 ○必要に応じて加筆修正すること。	◇交流の目的を知らせる。（全） ◇必要に応じて加筆修正させる。（全） ◇写真を提示して、花の軸が伸びた様子を視覚的に捉えさせる。（全） ◇重要な語「花の軸」「起き上がる」「ぐんぐん」「伸びる」を選んでた
5 全体で交流する。 なるほどタイム		

<様子・知恵> ・花の軸が、また<u>起き上がる</u>。 ・背伸びをするように<u>ぐんぐん伸びていく</u>。 <わけ> ・種を遠くまで飛ばすことができるから。 5 自分の考えを見直し、加筆修正をする。 つけたしタイム 6 「すごいぞ！たんぽぽ」を決めて自分の考えを書いて伝える。 (付箋)	○全体で交流すること。(ロイロノート・スクール画面共有) ○文末表現を確認すること。 ○問いと答えの関係を捉えること。 ○自分の考えを見直し、加筆修正すること。(赤鉛筆) ○自分の考えを書いて伝えること。	んぽぽの様子をまとめていることを価値付けする。 ◇問いと答えの関係を想起させる。(全) ◇問いと答えの関係を捉えながら、文末表現(～からです。)に着目してわけをまとめていることを価値付けする。 ◇「なぜこんなことをするのでしょうか。」の問いは、たんぽぽのちえ①②の文章にも代用できることを押さえる。(全) ★たんぽぽの様子とその理由の因果関係を捉えながら、重要な語や文を考えて選び出してまとめている。 ★たんぽぽのすごいところを振り返り、自分の考えを書いて表現しようとしている。
--	---	---

11 板書計画

④め

わけに気を付けて　すごいぞたんぽぽのちえ③　を読み取ろう。

じゅんじよに気をつけて読もう

本文拡大

たんぽぽの挿絵